

シッケンズ木材保護塗料 Q & A

Q. シッケンズの特長は？

シッケンズ木材保護塗料は、木材内部に浸透しながら表面にも通気性のある塗膜を形成します（半造膜タイプ）。塗膜による表面保護に加え、最高品質の酸化鉄顔料を配合することで、屋外において「抜群の耐候性」を発揮します。そして、木目を鮮明に見せる「美しい仕上がり感」は、木材の質感をよりいっそう引き立てることができます。

Q. シッケンズの通気性塗膜とは？

通気性塗膜は、外部からの劣化要因（雨水や紫外線）の保護のほか、木材中の水分を外部へ放散して木材含水率をコントロールすることができます。シッケンズは塗膜が柔軟なので、木材の伸縮に追従することが可能です。木材保護に理想的な機能を兼ね備えた塗膜です。

Q. セトール HLS とセトール Filter 7 プラスの違いは？

セトール HLS は最も浸透性に優れる製品です。屋外木部全般に使用可能で、薄い塗膜を形成します。セトール Filter 7 プラスは厚めの塗膜を形成する上塗り専用塗料です（※下塗りにはセトール HLS を使用して下さい）。塗膜耐久性に優れメンテナンス塗装にも最適な製品ですが、摩耗面には不向きです。

Q. セトール HLS とセトールノバテックの違いは？

セトールノバテックは溶剤の揮発分を抑えたハイソリッドタイプの製品です。2 回塗りでセトール HLS の 3 回塗りと同等以上の耐候性を発揮することができる製品です。比較的厚めの塗膜を形成しますが摩耗面には不向きです。

Q. セトールデッキとセトールデッキプラスの違いは？

セトールデッキは耐摩耗性に優れた塗膜を形成しウッドデッキやベンチなどに最適です。セトールデッキプラスはセトールデッキに滑り止め機能が加わった製品です。ウッドデッキやヨット木部にご利用頂いております。

Q. 屋外用と屋内用の違いは？

シッケンズの屋外用塗料はアルキド樹脂を成分とした油性タイプの塗料です。屋外用塗料は耐候性を重視しております。屋内用塗料にはアクリル・ウレタン系樹脂を成分とした、人体や環境へ配慮した水性タイプ（F☆☆☆☆）を導入しております。屋内外兼用ではありませんので、木部にはそれぞれ使い分けてご利用下さい。

Q. クリアー色の耐候性は？

セトール TGL、セトール HLS のクリアー色には顔料成分が入っておりません。そのため、着色タイプに比べて耐候性は低下しますのでご了承下さい。

Q. 塗料を混ぜても良いか？

セトール HLS 同士ならば混ぜ合わせて頂くこと可能です。他社製品やシッケンズの異なる製品を混ぜ合わせることはできません。

Q. 仕上がり感（ツヤ・発色）の違いは？

同じ塗料製品でも樹種や木材表面の状態等により、塗膜の形成や仕上がり感（ツヤ・発色）が異なります。サンプル缶にて事前に試し塗りをしてご確認頂くことも可能です。

Q. 希釈して塗装するのか？

原液のまま塗装して下さい。粘度が高く塗りにくい場合は希釈して塗装することも可能です。

<希釈剤及び希釈比率>

油性（屋外用）：塗料用シンナー 5%以内

水性（屋内用）：水 5～10%以内

Q. ヤニの除去は？

塗装前のヤニは塗料用シンナーやアルコールで除去して下さい。塗装後、塗膜を通して木材表面にヤニが滲み出てくることがありますが、この場合は白く硬化してからヘラ等で除去して下さい。

Q. 拭き取りは必要か？

耐候性や発色に大きく影響しますので、拭き取りはしないで下さい。

Q. 何で塗装するのか？

シッケンズは刷毛塗り専用の製品です。スプレー塗装はできません。

Q. 多く塗り重ねれば良い？

過度に重ね塗りをしてしまう塗膜の通気性を損なってしまうため、お薦めできません。通常は2回～3回塗りを標準塗装仕様としています（※優れた耐候性を発揮させるためには3回塗りを推奨します）。

Q. メンテナンス時期は？

一般的に約3年が再塗装の目安となりますが、建物の構造・方角・周辺環境・樹種・塗装仕様により様々です。特に直射日光の当たりやすい箇所やウッドデッキ面など、厳しい環境下においては、早期に定期的なメンテナンスをお薦め致します。